

様式第7号（第21条関係）

番 号  
令和7年6月30日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県小城市三日月町堀江288-7  
団 体 名 一般社団法人CIELO  
代表者職・氏名 竹内靖子  
電 話 番 号 0952-37-3725

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和6年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

-

令和6年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 一般社団法人CIELO
- 2 事業実施期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

地域で子どもたちの成長を見守り、ともに生き ともに学び ともに支え合う。  
帰ってきたくなる佐賀。  
住み続けたくなる佐賀。  
そして、応援したくなるまちに！

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

本事業では、ふるさと納税を活用し、「地域とつながる子育て拠点」の形成を目的として、子育て世代が安心して集い、悩みを共有できる場づくりに取り組みました。特に、子育てに悩みや不安を抱える保護者に寄り添い、気軽に相談できる環境を整えるとともに、地域住民との交流を促すイベントを複数回実施いたしました。これらの取り組みを通じて、保護者同士および地域の多世代とのつながりが生まれ、孤立しがちな子育て家庭が地域に支えられる実感を得る機会となりました。結果として、子育てを社会全体で支えるという意識の醸成が進みつつあり、地域との交流を深める手応えを感じております。ふるさと納税のご支援により、このような取り組みを着実に進めることができ、県民の福祉向上と地域活性化に寄与しております。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

本事業を通じて、地域とつながる子育て支援のあり方を模索する中で、私たちはいくつもの学びと気づきを得ることができました。たとえば、「困っている人のために」と始めた活動が、実際には参加のハードルを高くしていたという失敗もありました。一方で、誰もが気軽に立ち寄れるような雰囲気や導線づくりを意識したことで、想像以上に多世代の交流が生まれたという成功体験もあります。こうした試行錯誤の中で、「正しさ」ではなく「寄り添い」や「共にいること」の価値を再認識しました。私たちはこれから、これらの成功・失敗の具体的な事例を包み隠さず共有し、同じような地域課題に向き合う全国の自治体や団体と学び合えるネットワークを築いていきたいと考えています。そして、佐賀発の取り組みとして、「子育てや福祉に優しい社会は、誰にとっても生きやすい社会である」というメッセージを全国に発信していくことが、私たちの目指す社会像です。

- 5 寄附金活用事業実績 : (別記1)
- 6 次年度繰越額活用見込み : (別記2)
- 7 寄附金活用額 : (別記3)





(別記3) 寄附金活用額

<b>【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (=A+B)</b>		<b>4,260,305</b>
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	4,260,305
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	4,159,900
	前年度控除額(県事務経費)還付分	100,405
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	0

<b>【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)</b>		<b>4,260,305</b>
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	2,680,872
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	1,579,433
	返礼品等の調達に係る費用	1,132,422
	返礼品等の送付に係る費用	147,116
	広報に係る費用	0
	事務に係る費用	299,895

<b>佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)</b>		<b>0</b>
-------------------------------------	--	----------

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://fields.canpan.info/organization/detail/1027438793#finances>